

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		-	-	-
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・大口の外商売上があったため、前年同月比でプラスとなった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・台風の影響を除くと前年並みの売上高である。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・台風の影響もあったが、衣替えの時期であり、良かったと思う。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新型車が少ない状況ではあるものの、前年を上回る台数は確保できている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・地元の国体で人の動きが多かったが、売上としては例年より下落する。
		タクシー運転手	来客数の動き	・秋はお遍路さんが増えるので、仕事量が増えたように思う。街中も動いており、距離は短いながらも乗車回数が多くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型台風の影響で客数の減少はあったが、国内外からの観光客を中心に、そこそこ推移している。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・平日、週末とも多くの人でにぎわっているが、悪天候などの影響により購買は余り振るわなかった。
		商店街（代表者）	それ以外	・地方経済が好転する要素は当面見当たらない。実店舗からネット販売に主役が切り替わっているにもかかわらず、過剰店舗状態が解消する気配もない。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・競合店舗が新規オープンし、客数に変化が見られるが、一過性と思われる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・高齢者は身体を気遣ってアルコール離れであり、若者は酒類に興味なしの状態なので酒類業界は厳しい。新商品を勧めても、売上に繋がらない。
		百貨店（販売促進）	単価の動き	・売上、単価、客数に関して大きな変化が見られない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・買上点数と単価は前年比を上回ったが、客数の減少が続いている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・やや客単価が上昇している。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・地元国体の影響で人は増えていたが、販売量にはつながらなかった。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温に左右されるが、3か月前と比較しても変化はない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・あまり景気が良くなっているとは思えない。客数、単価、購買力、どれをみてもあまり向上しているとは思えないが、今後に期待したい。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・台風の影響が大きく、客数が減少している。
		旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・衆議院選挙や天候の不順もあり、客の動きが停滞したが、今後に期待する。
		タクシー運転手	お客様の様子	・大型台風の影響もあり、人の出が少ない。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売量が3か月前と変わらない。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・販売量に大きな変化は見られない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新規の客が少ないため。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建設費がそれほど変わっていない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候等の影響と衆議院選挙があり、販売量が前年同月に比べ落ち込んだ。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・大型台風の影響で客数が減少したため、売上が減少している。地元の国体も消費にはあまり影響がなかった。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・大型台風の影響による客数の減少及び青果物の不作の影響で売上が減少している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・地元の国体の経済効果を期待していたが、連日の雨に悩まされ、売上が伸び悩んだ。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9～10月の新車受注状況が前年比8割程度で推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・当月の受注台数が前月から減少傾向にあり不安なため。

		通信会社（技術）	販売量の動き	・弊社サービスの販売数量が減少しているため。	
		競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・地域行事等の客足鈍化から、売上減少を余儀なくされている。	
	x	美容室（経営者）	来客数の動き	・台風と衆議院選挙の影響で今月はいつにもなく客数が悪い。	
企業 動向 関連 (四国)		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・計画より受注が増加しており、年末に向かって良くなっていくと思われる。	
		化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・気温の低い日が多くなり、冬用製品の動きが良くなっている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主に再生可能エネルギー関連設備の製造業を営んでいるが、再生可能エネルギーは客の感心が高く、受注が決まっていく状況にある。受注量が増え、大規模な案件が決まっていくので、景気は上向いていると感じる。	
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年どおりこの時期の受注量は好調である。	
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先中小企業の財務状況や資金繰り状況を見ると、直近3か月の売上や受注の動向は業種別に偏りはあるものの、おおむね安定推移している印象。設備投資案件も多くはないが、徐々に出てきている。	
		農林水産業（職員）	取引先の様子	・大型の野菜を中心に安定した入荷が続き、基調価格は前年を下回る状況が続いている。台風で被災した品目では価格の浮上が見られるものの、全体としては停滞感が続いている。量販店では秋商材が増えてきているが、野菜を多く使用する冬商材への切替えはまだであり、野菜全体の消費は力強さに欠けている。	
		木材木製品製造業（資材購買）	受注価格や販売価格の動き	・一部の取引先からの受注が増えてきた。	
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に低水準で推移している。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・様々な案件に挑戦するも、なかなか受注に結び付かない。	
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・テレビ広告の出稿量において首都圏並びに主要地区と地方との間に明確な差が出てきている。	
		公認会計士	取引先の様子	・各関与先の決算書や試算表で前年比を見ると、同等か、やや回復傾向にある。	
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業の発注量が地域によって差があり、競争相手と比べても良い悪いが斑模様である。また、人手不足も障害となっている。	
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・秋の行楽シーズンは一般消費が伸び、商業貨物の取扱物量も増加するが、今年は秋雨前線の活発化や大型台風接近の影響で全国的に晴天に恵まれる事が少なかった事や、衆議院選挙の影響から消費が鈍化し、取扱物量が著しく減少した。	
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・夏場の飲料需要が一服した。	
		x	-	-	-
	雇用 関連 (四国)		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・募集形態を派遣から紹介予定派遣に切り替える企業が増えてきている。
			職業安定所（職員）	それ以外	・9月の有効求人倍率は1.46倍だが、3か月前と比べて0.10ポイント上昇している。
		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・地場企業の慢性的な人手不足により、売上戦略の拡大には至らず、現場で従事する人材の負担はますます増えるばかりで、心身共に環境の悪化が進む企業の様子がうかがえる。	
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・製造業は多忙な様子であるが、取引先からの価格交渉が厳しくなったり、人材不足による社員の残業代増加により、人件費がかさみ稼働状況の割に景気は横ばい。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・企業の求人倍率は伸びているものの、地元の好況感を感じたことはない。	
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・中小企業の収益が改善されたとの話は出てこない。	
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・求職者の要望や希望と、企業の求人ニーズと相違する場合が多い。	
			-	-	-

	x	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・派遣に登録する求職者数が減少している一方で、専門技術を求められる仕事が多いため人が見つからず、派遣業界の景気が悪くなっている。
--	---	------------------	---------	--